

氏名	有竹清夏	部署	健康開発学科	職名	教授
研究分野	臨床生理学, 生理検査学, 睡眠学, 時間生物学				
学位	博士 (保健学)				
学歴	2000年東京医科歯科大学医学部保健衛生学科卒業, 2003年東京医科歯科大学大学院保健衛生学研究科博士前期課程修了, 2006年東京医科歯科大学大学院保健衛生学研究科博士後期課程修了				
経歴	2000年日本大学医学部副手, 2001年国立精神・神経センター精神保健研究所/病院 研究員, 臨床検査技師, 2010年日本学術振興会特別研究員PD, 2012年ハーバード大学医学部/ブリガム&ウィメンズ病院リサーチフェロー, 2013年早稲田大学スポーツ科学学術院助教, 2017年東京大学大学院教育学研究科特任助教, 2017年埼玉県立大学健康開発学科准教授, 2023年埼玉県立大学健康開発学科教授				
所属学会 (役職)	日本睡眠学会 (評議員, 幹事 国際機関誌編集委員, ガイドライン委員会, ダイバーシティ委員会), 日本時間生物学会 (評議員), 日本PSG研究会 (幹事), 日本臨床神経生理学会, 日本臨床衛生検査技師会, 日本臨床検査学教育学会, 日本睡眠検査学会, 日本女性心身医学会, SPU学会, American Association of Sleep Technologist (AAST), American Academy of Sleep Medicine (AASM), National Sleep Foundation (NSF)☑				

【2024年度実績】

1. 研究業績						
(1) 著作(著書及びその他の著作物)						
	著作の名称	単・共	ISBN	発行所、全ページ数	著者、編者名	発行等年月
1	睡眠中の時間知覚. 睡眠学の百科事典	単著	あり	丸善出版	有竹清夏, 日本睡眠学会 (編)	2024.6
2	パートナー (家族・同居人等も含めて) 睡眠学の百科事典	単著	あり	丸善出版	有竹清夏, 日本睡眠学会 (編)	2024.6
(2) 論文						
	論文の名称	単・共	査読	IF対象誌 雑誌名、巻(号)、開始-終了ページ	著者、編者名	発表等年月
1	Subjective sleep onset latency is influenced by sleep structure and body heat loss in human subjects.	共著	あり	○ J Sleep Res. 2024 Oct;33(5):e14122. doi: 10.1111/jsr.14122.	Iijima R, Kadooka A, Sugawara K, Fushimi M, Hosoe M, <u>Aritake-Okada S</u>	2024.10
2	Human deep sleep facilitates faster cerebrospinal fluid dynamics linked to brain oscillations for sleep homeostasis and memory	共著		bioRxiv	Uji M, Li X, Saotome A, Katsumata R, Waggoner A, Suzuki C, Ueno K, <u>Aritake S</u> , Tamaki M	2024.8
(3) 学会発表						
	学会発表の演題	単・共		学会名、開催都市	発表者 (発表者は○印)	発表等年月
1	Respiratory-related leg movement index as an independent predictor of all-cause mortality: the MrOS sleep study.	共同		ATS2024, SanDiego.	Neda Esmaeili, <u>Sayaka Aritake</u> , Susan Redline, John W, Winkelman, Ali Azarbarzin.	2024.5
2	黄体期における昼間運動と簡易脳波計を用いた夜間睡眠脳波成分.	共同		第73回日本医学検査学会, 金沢	伏見もも, 飯島竜星, 五月女杏, <u>有竹清夏</u> .	2024.5
3	新しい動脈硬化指標および従来動脈硬化指標と生活習慣との関連と性差.	共同		第73回日本医学検査学会, 金沢	伏見もも, 渡邊光, 井上紗良, 谷口咲羅, 山路茉実, 五月女杏, <u>有竹清夏</u> .	2024.5
4	手足温浴が昼間の放熱および睡眠構造に与える影響・性差.	共同		第73回日本医学検査学会, 金沢	五月女杏, 萩田万喜, 齊藤鈴奈, 藤木優花, 伏見もも, 野々村ゆかり, <u>有竹清夏</u> .	2024.5
5	Association Between Subjective-Objective Sleep Time Discrepancy and Mortality in Older Men With/Without Insomnia.	共同		SLEEP2024, Houston	Tomohiro Utusumi, Takuya Yoshiike, <u>Sayaka Aritake-Okada</u> , Kentaro Matsui, Kentaro Nagao, Kaori Saitoh, Rei Otsuki, Masahiro Suzuki, Kenichi Kuriyama.	2024.6
6	Resistance exercise in the luteal phase promotes heat loss and increases delta power during nocturnal sleep. (Accepted)	共同		SLEEP2024, Houston	Fushimi M, Iijima R, Kiyama M, Kubokawa H, Sugawara K, Takakura, Noguchi S, <u>Aritake-Okada S</u> .	2024.6

7	Effects of combined hand and foot bathing on heat dissipation, daytime sleep structure, and gender difference. (Accepted)	共同	SLEEP2024, Houston	An Saotome, Maki Hagita, Rinna Saito, Yuka Fujiki, Momo Fusimi, <u>Sayaka Aritake-Okada</u> .	2024.6
8	Cerebrospinal fluid dynamics are coupled to sleep brain oscillations during NREM and REM sleep.	共同	OHBM, Seoul	Makoto Uji, Xuemei Li, An Saotome, Ryosuke Katsumata, Chisato Suzuki, Kenichi Ueno, <u>Sayaka Aritake</u> , Masako	2024.6
9	Coupling between cerebrospinal fluid dynamics and sleep brain oscillations during NREM and REM sleep in humans.	共同	Neuro 2024, Fukuoka.	Makoto Uji, Xuemei Li, An Saotome, Ryosuke Katsumata, Chisato Suzuki, Kenichi Ueno, <u>Sayaka Aritake</u> , Masako	2024.7
10	【シンポジウム】放熱・代謝と睡眠. 放熱と主観的入眠潜時、睡眠構造.	共同	第48回日本睡眠学会定期学術集会. 横浜.	飯島竜星, 五月女杏, <u>有竹清夏</u> .	2024.7
11	日本睡眠学会検査技師会員における就労継続のための職務環境整備に関する検討.	共同	第48回日本睡眠学会定期学術集会. 横浜.	<u>有竹(岡田)清夏</u> , 森槌康貴, 山寺亘, 新谷朋子, 金野倫子, 尾崎章子.	2024.7
12	手足温浴による放熱、脳波的睡眠構造および主観的評価の変化と性差.	共同	第48回日本睡眠学会定期学術集会. 横浜.	五月女杏, 萩田万喜, 齊藤鈴奈, 藤木優花, 伏見もも, <u>有竹清夏</u> .	2024.7
13	黄体期における運動の効果－女性の起床時主観的評価と客観的睡眠評価との関連性－.	共同	第48回日本睡眠学会定期学術集会. 横浜.	伏見もも, 飯島竜星, 木山水月, 久保川媛加, 菅原このみ, 高倉麻里子, <u>有竹清夏</u> .	2024.7
14	日本人における不溶性食物繊維摂取と睡眠休養感の関連.	共同	第48回日本睡眠学会定期学術集会. 横浜.	伏見もも, 河村葵, 内海智博, 吉池卓也, 松井健太郎, 都留あゆみ, 伊豆原宗人, <u>有竹清夏</u> , 栗山健一.	2024.7
15	睡眠ポリグラフ検査を用いた健常成人における手足温浴の効果と性差.	共同	第18回日本臨床検査学教育学会学術大会, 新潟	五月女杏, 萩田万喜, 藤木優花, 伏見もも, <u>有竹清夏</u> .	2024.8
16	【シンポジウム】不規則な睡眠が動脈機能に及ぼす悪影響と有用な日常生活行動. 睡眠と身体活動, 動脈硬化との関連.	単独	第78回日本体力医学会大会. 佐賀.	<u>有竹清夏</u> .	2024.9
17	Resistance exercise promotes heat loss and δ -power during nocturnal sleep in luteal phase.	共同	ASSM2024, Ariake, 2024	Fushimi M, Iijima R, Noguchi S, <u>Aritake-Okada S</u> .	2024.10
18	黄体期女性の睡眠の質に対する身体運動の効果：主観的・客観的指標の観点から	共同	第5回日本睡眠検査学会学術集会, 東京	伏見もも, 飯島竜星, 木山水月, 久保川媛加, 菅原このみ, 高倉麻里子, <u>有竹清夏</u>	2024.11
19	睡眠ポリグラフ検査と周波数解析を用いた手足温浴の放熱、徐波成分、主観的評価への効果と性差の検討.	共同	第5回日本睡眠検査学会学術集会, 東京	五月女杏, 萩田万喜, 齊藤鈴奈, 藤木優花, 伏見もも, <u>有竹清夏</u> .	2024.11
20	温熱冷却による放熱, 睡眠構造, 主観的評価の関連.	共同	第5回日本睡眠検査学会学術集会, 東京	山路菜実, 井上紗良, 谷口咲羅, 渡邊光, 五月女杏, 伏見もも, <u>有竹清夏</u> .	2024.11
21	睡眠ポリグラフ測定を用いた睡眠の質の改善に効果的な手足温浴プロトコルの開発.	共同	第52回埼玉県医学検査学会, さいたま	五月女杏, 萩田万喜, 齊藤鈴奈, 藤木優花, 伏見もも, <u>有竹清夏</u> .	2024.12
22	【シンポジウム】健康維持・増進に役立つ睡眠・休養について.	単独	日本医療情報学会日本医療情報学会課題研究会「栄養・運動・口腔保健・休養の自己管理のための保健医療情報研究会	<u>有竹清夏</u> .	2025.1
(4) その他					
	名称	単・共	発表場所等	発表者(発表者は○印)	発表等年月
1	該当なし				

2. 競争的資金等の研究				
	競争的資金等の名称	研究名	研究代表者・研究分担者の別	研究期間
1	厚生労働科学研究費補助金 (24FA1001)	研究課題名：睡眠時間・睡眠休養感の確保に影響する就寝環境・生活習慣の客観的評価手法および適切な睡眠取得のための介入・環境整備法の開発	研究分担者	2024.4-
2	文部科学省科学研究費補助金 (基盤C：研究代表者) (KAKEN 22K11879)	研究課題名：更年期女性の不眠の病態生理と身体運動に着目した睡眠改善プロトコルの開発と効果検証.	研究代表者	2022.4-
3	文部科学省科学研究費補助金 (基盤B：研究分担者) (KAKEN 22H01107)	研究課題名：学習の転移における睡眠の役割とその神経基盤の解明.	研究分担者	2022.4-
3. 教育業績				
(1) 講義				
	講義の名称	科目責任者	コマ数	概要 (教育内容・方法等において工夫した点)
1	生理検査学Ⅰ	○	15	2年次前期3.4限 30時間：科目責任者として心電図, 脳波, 筋電図などの循環器生理学, 脳神経生理学領域の基礎および臨床に関する講義, 定期試験作成・実施を行った.
2	生理検査学Ⅱ	○	8	2年次前期3.4.5限 15時間：科目責任者として呼吸生理学領域の講義, 定期試験作成・実施および非常勤講師の対応を行った.
3	生理検査学Ⅲ	○	15	3年次前期1.2.3限 15時間：科目責任者として画像検査領域, 感覚機能検査領域の講義, 定期試験作成・実施および非常勤講師の対応を行った.
4	生理検査学特論	○	8	4年次後期2限 15時間：科目責任者として生理機能全般に関する講義・演習を行った.
5	臨床検査概論		1/8	1年次前期5限 2時間：科目担当者として生理機能検査概論を講義した.
6	生体情報評価学		3/15	大学院博士前期課程1年次 6時間：科目担当者として講義を行った.
7	医療科学研究論	○	4/15	大学院博士後期課程1年次 8時間：科目担当者として講義を行った.
(2) 演習				
	演習の名称	科目責任者	コマ数	概要 (教育内容・方法等において工夫した点)
1	生理検査学演習	○	30	2年次前期3.4.5限 30時間：科目責任者として生理学実習の説明・実演および実習指導を行い, 非常勤講師の対応を行った.
2	検査総合演習		2/15	4年次後期2.3限 4時間：科目担当者として臨床検査科目のうち生理機能検査学について総括を行った.
3	臨床検査基礎演習		-	大学院博士前期課程1年次：科目担当者として演習指導などを行った.
4	健康福祉科学演習		-	大学院博士前期課程1年次：科目担当者として演習指導などを行った.
5	医療科学研究演習	○	-	大学院博士後期課程：科目責任者として演習指導などを行った.
(3) 実習				
	実習の名称	科目責任者	学外実習：期間 学内実習：コマ数	概要 (教育内容・方法等において工夫した点)
1	生理検査学実習Ⅰ・Ⅱ	○	23	3年次前期1.2.3限 45時間：科目責任者として循環器, 脳神経, 呼吸機能の検査項目9種類について実習書を作成し, それを用いて学生に実習指導を行った.
2	生理検査学実習Ⅲ	○	23	3年次後期3.4.5限 45時間：科目責任者として超音波画像, 感覚機能の検査項目種類について実習書を作成し, それを用いて学生に実習指導を行った.
3	臨地実習		2024.4-2025.3	3年次後期 45時間：科目担当者として3年次学生の臨地実習受入施設への訪問・対応, 学生対応などを行った. また臨地実習担当として学生の病院施設配置や実習に関するガイダンスなど種々の指導を行った.
4	IPW実習	○	2024.4-2025.3	4年次通年：科目責任者として運営, 教員FTのIPW実習受入施設への対応と説明会実施, 事後アンケート集計, 学生配置などを行った.

(4) 論文指導				
	対象	期間	主指導・副指導の別及び指導人数	
1	卒業論文	2024.4～2025.3	主指導 7名	副指導 名
2	修士論文	2024.4～2025.3	主指導（指導教員） 1名	副指導（指導補助教員） 名
3	修士論文	2024.4～2025.3	主指導（主査） 1名	副指導（副査） 名
4	博士論文	2024.4～2025.3	主指導（指導教員） 4名	副指導（指導補助教員） 1名
5	博士論文	2024.4～2025.3	主指導（主査） 1名	副指導（副査） 名
(5) その他				
	名称	期間	概要（教育内容・方法等において工夫した点）	
1	東京科学大学（東京医科歯科大学）医学部 保健衛生学科	2008.4-	3年次生理検査学Ⅱ：非常勤講師として生理検査学の講義を担当した。	
2	早稲田大学グローバルエデュケーションセンター	2015.4-	メンタルヘルスマネジメント概論：睡眠の生理	
4. 社会貢献活動				
(1) 講演会、研修会、公開講座等の講師				
	講演会、研修会、公開講座等の名称	主催	講演、研修、公開講座等のテーマ	開催年月
1	JSA セミナー 2024 国際エステティシャンのための継続教育セミナー	日本スキンケア エステティック 協会	ライフステージ・ライフスタイルと睡眠・健康.	2024.9
2	秋の睡眠の日イベントトーク	博報堂	寝つきの仕組み、よい眠りのための条件など睡眠研究のエビデンスに基づく睡眠衛生指導.	2024.9
3	JTBユニバーシティ学びのSummer Festival 2024.	JTB健康保険組合	良い睡眠を取るためのTips.	2024.8
3	外部有識者	日本睡眠 ヘルスケア講義 会	認定制度発表会. スリープサポート 認証制度について～	2024.8
5	高校出張講座 東京都立本所高等学校	埼玉県立大学研究・地域産学連携担当	勉強や運動のパフォーマンスを上げるためのコツ.	2024.10
6	高校出張講座 越谷市立平方中学校	埼玉県立大学研究・地域産学連携担当	睡眠による心と体の健康.	2024.11
7	越谷市立新方小学校	ねむりん睡眠健康推進機構	健やかな体をつくる睡眠のすすめ ～ねる子はそだつが本当である訳（わけ）を科学的に知る～.	2025.1
(2) 国、自治体、学術団体等における委員等				
	国、自治体、学術団体等の名称	委員等の名称		任期
1	日本睡眠学会	評議員, 幹事 (2021.7-)		2007.7-
2	日本睡眠学会	生涯教育セミナー作業部会委員		2007.7-
3	日本睡眠学会	SBR編集局員		2016.7-
4	日本睡眠学会	国際機関誌編集委員会		2016.7-
5	日本睡眠学会	ガイドライン委員会		2016.7-
6	日本睡眠学会	睡眠ヘルスケアサービスの機能評価に関するWG		2023.7-
7	日本睡眠学会	ダイバーシティ委員会		2021.7-
8	日本時間生物学会	評議員		2010.4-
9	日本睡眠検査学会	評議員		2020.9-
10	日本睡眠検査学会	学術交流委員会委員長 (2022-)		2020.9-
11	日本睡眠検査学会	学術企画委員会		2020.9-
12	日本睡眠検査学会	精度管理委員会		2020.9-
13	日本臨床検査学教育協議会	学術評議員		2023.4-

(3) ジャーナリズムでの発言				
	メディア等の名称	内容	年月	
1	文藝春秋	グッスリ快眠は寝具選びから。〈特集〉睡眠は最高のアンチエイジング#6	2025.1	
(4) その他				
	項目	相手方等	内容	期間
1	国の政策	厚生労働省	健康づくりのための睡眠ガイド2023 研究分担者指針作成	2021.4-
2	産業支援	花王株式会社	共同研究	2021.2-
4	産業支援	プロアシスト株式会社	共同研究	2024.4-
5. 学内運営				
	項目	内容	期間	
1	全学的委員会及びセンター業務等	大学院教務委員会 副委員長	2024.4-	
2	全学的委員会及びセンター業務等	学長特命業務	2021.4-	
3	全学的委員会及びセンター業務等	IPW実習科目責任者	2023.4-	
4	学科等における委員会等	国家試験担当	2024.4-	
5	学科等における委員会等	臨床検査技能実習ワーキンググループ	2024.4-2025.3	
6	学生支援	学生担任教員（3年），学生担当アドバイザー，学習及び進路などの相談・支援	2018.4-	
6. 受賞（研究、教育、社会貢献活動に関するもの）				
	受賞名	主催	受賞年月	
1	第18回日本臨床検査学教育学会優秀発表賞	日本臨床検査学教育協議会	2024.8	
7. 特許の取得				
	特許名	特許番号	登録年月	
1	該当なし			
8. 特記事項				
1	該当なし			